

# V 戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部便り 春季 6 1 号

## 知ってるつもり! ?

以下のサイトを見ていただき、指導の参考・資料にしてください。

### 日本バレーボール協会

- ・グッドコーチングセミナー

<https://www.jva.or.jp/support/coach/seminar.html>

- ・中学校部活動におけるバレーボール指導者へのガイドライン

[https://www.jva.or.jp/pdf/juniorhigh\\_guide\\_JVA2019.pdf](https://www.jva.or.jp/pdf/juniorhigh_guide_JVA2019.pdf)

### 日本中学校体育連盟バレーボール競技 競技委員会・審判規則委員会

- ・「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

<http://jjhsva.com/img/file83.pdf>

- ・全国大会参加チームのユニフォームの規定について

<http://jjhsva.com/img/file84.pdf>

- ・(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「熱中症対策としての団扇使用」の取り扱いについて

<http://jjhsva.com/img/file160.pdf>

- ・(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における「ベンチ内持ち込み物」の取り扱いについて

<http://jjhsva.com/img/file176.pdf>

- ・2022年度 審判規則委員会の基本方針について

<http://jjhsva.com/img/file187.pdf>

- ・2022年度 ルールの取り扱い【確定版】について

<http://jjhsva.com/img/file188.pdf>

- ・『リベロリプレイスメント』改正点について

<http://jjhsva.com/img/file112.pdf>

- ・リベロリプレイスメントの変更についての付則 (2021 変更版)

<http://jjhsva.com/img/file174.pdf>

- ・リベロコントロールシート原盤・解説 (改正版)

<http://jjhsva.com/img/file91.pdf>

- ・(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部審判規則委員会 生徒役員育成マニュアル

<http://jjhsva.com/img/file167.pdf>

- ・生徒役員育成マニュアル令和3年度4月追記版

<http://jjhsva.com/img/file168.pdf>

# 昭和から平成・令和へ

高橋 利明

## その26 Nanbu Growing Up (小学生チーム) の創設

2012年(平成24年), 南部中学校男子バレー部顧問5年目のときだった。入部したのは2人。いよいよ, 男子バレー部に入部する生徒もいなくなるのか!? そんなことを真剣に心配するようになった。当時, 徳島県U14男子バレークラブチャンピオン大会に出るために, 大松小学校のドッジボール部, 宮井小学校の野球部, 徳島市立体育館で行っているバレーボール教室のメンバーと南部中学校男子バレー部のメンバーで夏休みに練習をして出場をしていた。いつもなら大会が終了すれば, 小学生は中学校の練習に来なくなるのだが(練習を大松小学校の体育館や丈六コミュニティーセンターを借りていたこともあって)保護者と共に小学生がやって来たりしていた。あまりにも熱心だったため, 私が保護者に「小学生チームを作ります?」というとき, 全保護者が賛同することになり, 12月から正式にチームを作った。

チーム方針としては,

①お金をかけない。

②試合に出場して勝つことをめざすのではなく, あくまでもバレーボールに楽しみ, その結果として中学生になってもバレーボールを続けて欲しい。

③練習試合や様々な大会があるが, 県小学生連盟主催の大会(県新人大会・県全国大会予選・県選手権大会)のみ出場を原則とする。

④練習は, 毎週木曜日のみ17:00から。

という条件で行った。というのも, 私が小中一緒に教えることはできないため, 私にとって最大限できる範囲というのが条件だった。

翌年3月, 徳島県小学生新人バレーボール大会に申し込むことになった。まずは, チーム名。「南部中学校の校区を対象にした小学生チーム。“少年”や“ボーイズ”ではないネーミングを考えた。映画“グローイング・アップ”を思い出した。やんちゃな子どもたちがいろんな体験をすることによって成長していく映画ため, それにあやかった。“この子たちにはこれからバレーボールを通して健全に成長して行くことを望む”と。」そして, 『Nanbu GrowingUp』とした。

しかし, 私自身, 困っていたことがあった。何故か。「パスもできない小学生を試合に出してもいいものか?」「ユニフォームがない。」ということである。保護者と相談を行い, 「勝ち負け関係ないというスタンス。出場するだけでよい。」「ユニフォームは, Tシャツに番号を貼れば, よい。」ということで, Tシャツにチーム名と背番号をつけた1500円のユニフォーム。短パンは, 「黒の短パンが家に必ずある。」ということでそれにした。小学生連盟に理解を得ていただき(後に500円の短パンをそろえた)試合に臨んだ。「パスできなくても試合に勝てる方法はないか・・・。」ひらめいた!それは, 南部中学校女子バレー部Bチームに授けた2攻撃をさらに進化させ, “1攻撃”である。「いいか!これは何だ!」という問いかけに小学生たちは, 「ボール!」と大きな声で返事をした。「いいや, 違う!これはな・・・爆弾だ!」「え～～～!(驚きと笑い)」「そう, これは爆弾だから自分たちが持っていたら爆発をする。だから, すぐに相手に戻さなければならぬ!わかった?」「わかった!」近年のバレーボールのルールでは, 1のダブルコンタクトはない。しかも小学生のハンドリングは, 甘い。そこで目をつけたのが, “1攻撃”だった。幸いにも, 練習の7～8割はサーブ練習に費やしていたため, ほとんどの小学生はサーブがちゃんと打っていた。

1回戦。相手は、阿南市のバレーボール教室のチーム。監督は、阿南工業高校・津田裕史先生。（私の1つ下の中学・高校時代の後輩）見た感じは相手チームが強そうだ。しかし、試合が始まると相手チームは面食らっていた様子だった。相手は、スパイクで打ってくる。ミスをするときもある。こちらはスパイクを打つことさえできない。どんなことがあっても“1（ワン）”でボール戻ってくるため、気が気ではない。接戦の末、勝利。保護者も子どもたちも大喜び。そして、いつの間にか決勝進出。相手は、津田JVC。相手監督は、私が小学5年生のとき、体育を教えてもらった岡村先生。“1攻撃”はもはや通用しない。乾杯だった。その後、毎週月曜日17：00からの練習に変更した。しかし、監督もなかなか自分ではできないので恩師・井上肇先生にお願いをした。井上先生は驚敷町から約1時間かけて、練習の指導にやって来てくれた。私は井上先生に“おんぶにだっこ”状態だった。小学生はいつの間にか、30名以上入部し、中学校でもバレー部に入部する者がほとんどであった。当時、徳島県体育協会が『中高連携だけでなく、小中連携の競技力向上』を掲げていたが、それを実践した形になった。

## その27 最後に・・・自己満足

自分の長所でもあり欠点でもあること。それは、「思い立ったが、吉日」です。“新しい物好き”で“人が真似できないようなことをやる”という性格です。（前述した22もその現れと思っています）また、赴任した学校でバレー部を創設したこともありました。そんなことも考えながら今までどんなことを勝手ながら整理してみました。

- ①四国中学生バレーボール選抜優勝大会の創設
- ②四国中学生バレーボール選抜優勝大会選考会の創設  
※優勝旗（男女各1本）を寄贈しました。
- ③徳島県U14男子バレークラブチャンピオン大会の創設
- ④四国U14男子バレークラブチャンピオン大会の創設  
※ブロック大会（四国大会）を2大会も創設した中学校教員は全国で私だけでしょう。日本バレーボール協会から功労賞があっても不思議ではないと思う。
- ⑤徳島県夏季ヤングクラブバレーボール大会の創設
- ⑥徳島県冬季ヤングクラブバレーボール大会の創設
- ⑦ 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会への参加  
TokushimaGoToWinners（男子） TokushimaDge-Lakers（女子）  
の出場  
Tokushima City-Boys（男子）
- ⑧Nanbu GrowingUp の創設（小学生・男子チーム）
- ⑨徳島県中学校総合体育大会・四国中学校総合体育大会の抽選方法の変更提案し、実現。
- ⑩参加料の振込制度の導入
- ⑪男女A・Bチームの大会への参加
- ⑫大会の日程の変更
- ⑬大会の抽選方法の変更
- ⑭徳島県バレーボール協会中学校専門部と徳島県中学校体育連盟バレーボール競技部の融合した組織作り
- ⑮どこよりも早くホームページを作成し、それによって要項・申込書の作成  
徳島県中学校バレーボール専門部の創設
- ⑯徳島県中学校バレーボール専門部の研修会（全体会）の創設
- ⑰徳島県ヤングクラブ連盟の創設
- ⑱徳島県U14男子バレーボール委員会の創設



⑱全中バレー徳島大会での全国初の「危機管理（携帯電話の利用・ビデオカメラ・カメラの制限）」「下も白帯のネットの使用（このネットはこれをきっかけに全国普及）」「メールでの申込（メールでの申込は当たり前になっているのではないのでしょうか）」を実施しました。

⑳支柱を立てるとき、穴付近の床に傷がつくための防止マットの導入しました。（県内最初）

※このことを某社に提案すると、「すでにその製品を作っているが、カタログには載せていない。」という。理由については、大人の事情です。



㉑センターラインにゴムを貼ることによってねんぎ防止をすることへの導入しました。（県内初）2015年くらいから某社が製品化したと思われま

す。㉒（メンバーチェンジ時の）パドル作成（今までにないパドル）をモルテンに提案・指示し、完成。

※某漫画（アニメ）でもこのパドルが出てきました。（右側）

※某社のバレーボール作戦盤の製品作りにもアドバイスしました。



㉓2攻撃を試合の中で作戦の1つとして取り入れました。

※1998年頃、誰も2攻撃をいつの攻撃方法としては考えていませんでした。当時の南部中学校女子バレー部Bチームが県中選手権大会（女子のBチームが試合出場を認めた最初の大会）で3勝することができました。

㉔県内でペッチョン攻撃（軟打，軽打）を試合の中で作戦の1つとして取り入れました。

※フルスイングでスパイクを打つ。当たりそこねのスパイクである。強打を待ち構えている相手チームはそれが捕れない。どうすれば、意図をもってそんなスパイクが打てるのかと試行錯誤しました。それを教えていただいたのは、大阪（高校）の先生でした。

㉕県内でヒッティングレシーブを取り入れました。

※コカ・コーラ Jr サーキット（以前、日本コカ・コーラボトラーズが主催でバレーボールの指導を全日本または元全日本の選手を招いて行ったバレーボール教室）で、杉山明 美さん（当時、NEC レッドロケッツでプレーし、1988年ソウル・オリンピックに出場）にこれからはオーバーレシーブしてもハンドリングの反則にならないためのそれをうまく対応するためのプレー方法（オーバーハンドで捕ると手から抜けていくため、そうならないプレー方法）を教えてくださいました。

㉖北島中学校男子バレー部創設2年目で決勝進出，3年目で優勝できました。

- ⑳南部中学校女子バレー部が初めて県優勝しました。
- ㉑南部中学校女子バレー部が県優勝。男女バレー部を指導した顧問で優勝させたのは初めてでした。
- ㉒八万中学校女子バレー部が徳島市中学校新人大会で優勝。八万中学校女子バレー部が“優勝”したのは今のところこのときだけです。
- ㉓徳商男子バレー部監督を行い、準優勝。NanbuGrowingUp 監督で準優勝。小中高のチームを優勝はできませんでしたが決勝進出させた指導者は、(きっと)全国に誰もいないとおもいます。
- ㉔高校の試合で(準決勝・決勝)たくさんの指導した者が活躍している話を聞きます。「今日は、上位のチームで高橋さんの教えた生徒がいっぱい試合に出て頑張っていた。」と聞くと嬉しかったです。
- ㉕過去において指導した者の中で、実業団及びVリーグの選手として活躍した者やしている者は3人、バレーボールで大学進学や企業に就職した者、教員になりバレーボールの指導している者など多数出てきました。頑張っている様子を知るとこれもまた嬉しいものです。

・・・以上、全て自己満足です。申し訳ありません。

## その28 終わりに

2022年(令和4年)徳島県中学校総合体育大会で優勝したときは、59歳11ヶ月。県優勝監督としてバレーボール界では、最年長でしょう。優勝することが全てではありませんが、優勝するのは選手の努力、保護者の協力が不可欠です。私は、体が大きく丈夫な方ではありません。自分で自分をたとえると軽トラのボディーで大型トラックのような練習をしてきたと思っています。しかも、その軽トラは動きも悪いため、運転手にとっては最悪な車です。ついには、左腰にぎっくり腰、右腰に椎間板ヘルニアとなり、地獄のような手術をしました。疲労度も増したとき、胆嚢に大きなポリープもできたため手術をしました。すると、年3回も入院することになりました。腕の疲労・使いすぎもあって、4回手術を行いました。自分で言うのもおこがましいが、満身創痍です。そのため、満足な練習指導もできない年齢・体調になったと思っています。

私には夢があります。

徳島県のチームがもっと強くなるだろうという案を持っています。

全国的にバレーボール競技にたくさんの人たちが親しんでくれるだろうという案を持っています。

そんなことを思っているとワクワクします。これからのみなさんにワクワクするような新発見・新発明・新技を考えていただければと思っています。

最後になりましたがこれまでご愛読していただき、ありがとうございました。

### 男女4強決まる 四国中学生選抜優勝大会

バレーボールの第28回四国中学生選抜優勝大会は、徳島県立徳島商業高校が優勝し、男子4強、女子4強が決まった。22日の最終日に行われた準決勝と決勝があり、男子は徳島商業が優勝し、女子は徳島商業が優勝した。準決勝は、徳島商業が徳島県立徳島商業高校を3-0で破り、男子4強を決めた。女子は、徳島商業が徳島県立徳島商業高校を3-0で破り、女子4強を決めた。



### 女子南部 V 津田男子

女子バレーボールの試合風景。津田男子が活躍している様子。試合は津田男子が勝利した。津田男子は、試合中、激しい攻撃を繰り出し、最終的に勝利した。津田男子の活躍が、試合の转折点となった。



### 二枚看板 フル回転 南部

男子バレーボールの試合風景。津田男子が活躍している様子。津田男子は、試合中、激しい攻撃を繰り出し、最終的に勝利した。津田男子の活躍が、試合の转折点となった。

### 津田男子3位 四国中学選抜 優勝バレー

バレーボールの第28回四国中学生選抜優勝大会は18日、徳島市のとくぎんトモニアリーナで4代表の男女各々チームが参加して開幕し、男子の試合が行われた。徳島直勢は津田が準決勝で敗れて3位。南部は1回戦で敗れた。雄新(愛媛)が優勝した。女子は19日に同会場で行われる。

3月19日 徳島新聞

### 藍住女子3位 四国中学選抜優勝バレー

バレーボールの第28回四国中学生選抜優勝大会は最終日は19日、徳島市のとくぎんトモニアリーナで4代表の男女各々チームが参加して開幕し、男子の試合が行われた。徳島直勢は津田が準決勝で敗れて3位。南部は1回戦で敗れた。決勝は松山東雲が制した。徳島県関係は決勝

### 2月27日 徳島新聞

野上峻(徳島商業)が活躍し、徳島商業が優勝した。津田男子は、試合中、激しい攻撃を繰り出し、最終的に勝利した。津田男子の活躍が、試合の转折点となった。

徳島商業が優勝した。津田男子は、試合中、激しい攻撃を繰り出し、最終的に勝利した。津田男子の活躍が、試合の转折点となった。

## 県中学総体 地域クラブ参加可能に

### 23年度から全19競技対象

徳島中学校体育連盟(県中体連)は、2023年度から県中学総体大会(県中総体)から、学校の運動部に限っていた参加資格を、地域クラブも参加できるように変更する。対象となるのは、全19競技である。

徳島新聞 3月31日